

～やっぱり、サラリーマンより漁師でしょう～  
受川 哲也さん(四国中央市(旧伊予三島市))

1979年生まれ

寒川漁業協同組合 青年漁業者協議会長



### ☆経営概況☆

小型機船底びき網 使用漁船(4.9トン) 主な漁獲物(スズキ、イカ、マダイなど)

### ☆ここがポイント☆

#### ■自分の力を試してみたい。父親のもとで修行!

高校卒業後、地元企業に就職したものの、同じ仕事の繰り返して、社員は会社の歯車の一つでしかないのかと思うようになり、25才で自分の力を信じて転職し、父親の底びき網で3年間修業して独立しました。この3年間は親子と言えど師匠と弟子の関係となり、漁業の厳しさや苦しさを教え込まれ、まさに、教育と言うよりは修行の連続でした。

#### ■努力の蓄積あるのみ、その先に収入がある!

偉そうなことを言うのも恥ずかしいのですが、父親から独立した時の話(サラリーマン時代には絶対に感じなかった)をさせてもらいます。

分かりやすい例で言うと、水泳の練習では、どんなに頑張っても練習の初日から5m泳ぐ、翌日は10m泳ぐことが絶対にできないのと同じで、日々の努力が蓄積されて、ある日、突然10m泳げるようになるもので、独立して底びき網の漁師になった初期の頃は、「頑張っているのに売り上げが少ない。」とグチを言う毎日でした。しかし、その後は努力の蓄積が実ったのか、潮流・潮汐・風・天気を読むようになり、見ることができない海底も、漁網ロープから伝わってくる微かな振動で起伏や底質を感じることができた時から、自分なりに納得できる収入が続くようになり、今では、一家4人が無事に暮らせる収入を安定的に得られるようになりました。

書けば難しそうな文章になりましたが、努力の蓄積は究極に言うと『コツ』ですね。ただ、鉄棒の逆上がりのコツ(腕を縮める・鉄棒にヘソをぶつける)と同じで、一つの作業に2つ以上のコツがある作業が多いのが漁業の難点です。でも、発見時の感動は特大ですよ。

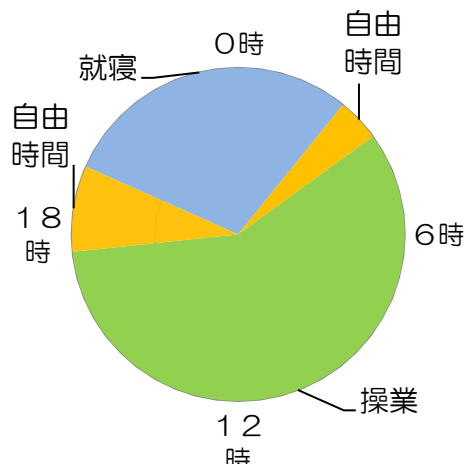


日の出前の出航準備



さあ、出航だ。

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

漁師は見た目より忙しい！

毎週、土曜日が定休日なので家族サービスや自分の趣味に使いたところですが、漁船や網の補修などに追われ、案外、自由時間がないのですよ。

ただ、自然を相手にする漁業だから、天候の悪化次第で、即、ゴールデンウィークに突入します。でも、収入が全くないので、ある意味うれしくない（笑）。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	← 出漁 →				← 休日 →	← 出漁 →
【悪天候時】	← 出漁 →				← 休日 →	



今日の獲物はカワハギだ。



大漁でも安心。ベルトコンベアの出番だ。

☆これからの夢や目指すもの☆

大きな夢などはありませんが、家族を無事に養うことに尽きます。帰港時に岸壁で帰りを待つ子供の姿を見た時に、大漁以上の喜びと言葉にできない安心感を感じます。

☆メッセージ☆

漁師になりたいと思ったら、まずは、寒川漁業協同組合（0896-23-3718）へ連絡してください。組合長や職員が優しく受け答えしてくれます。

最後に、漁師の職業イメージとして「きつい」「厳しい」「儲からない」がありますが、「きつい」「厳しい」に関しては本当です。だいたい、楽しく収入がある職業なんてありません。しかし、「儲からない」だけはウソと言いたい。先に書きましたとおり、努力の蓄積があれば、儲けは後からついてきます。実践者の自分が言うのだから間違いありません。